

## 週日の説教

金 大烈 神父 2011年2月9日(水)

### 《“人間の尊さと人権” それはあらゆる律法の上にある》

#### 主の平和

今の時代でもイスラエル人は律法の配下にいます。律法に従わなければならないと、生き方の基準がその律法に縛られたものになっています。時代を経て、色々な国の文化が入ってきて変わったところもあると思いますが、やっぱりイスラエル人の血には、律法に対しての強い信仰がまだ生きているのが今も変わらないことだと思います。

さあ、律法は初めてどのように作られたのでしょうか。文字の文化が普及し始める前からひとつの精神がありました。それはイエス様から言われた申命記の話「神様を愛し人間を愛しなさい」という言葉ですよね。その言葉に基づいて色々な律法が出来たわけですが、その時何よりも「モーゼ」という立派な人間によって十の戒めが出ます。そこから記録的に色々な律法が枝を伸ばします。その十の戒めから生まれた613種類の律法があります。613種類の律法は大体4つの種類に分けられます。ひとつには神様に対する祭儀。いわゆる祭儀の法律。それから論理の法。そして人間の生き方を説く民法。もうひとつは飲食。食べ物についての法律があります。とにかくこの4つの法律に縛られて、イエス様の時代は何千種類もの、数え切れないような小さいことまで人々は律法を定めたのです。

例えば、昨日の福音(マルコ7:1-13)で読まれたのですが、器はどのような形で置くか、どのように洗わなければならないか、外から帰ったら必ず手を洗わなければ食卓に着いてはいけないとか、安息日には何もしてはいけないとか、本当に律法学者さえ守れない法律を沢山作ったのです。何故そのように作ったか申し上げますと、律法主義者、律法学者達にも色々な派があったのです。ですからある派が自分の派のために、選挙の立候補者が人々の前で公約を掲げるように、「この法律は守らなければならない」と言い出します。そうすると横にいた別の派が「これはおかしい、私達も人々に訴える法律を作らなければならない」と言ってはまた作ります。このようにして沢山の法律が出来たわけです。しかし、作られる過程、そのプロセスが分からない一般の人々は、民達は、それをちゃんと勉強した者達がそのように言うのですから従わなければならないわけです。けれども人々は、あまりにも定めごとが多すぎて従えなかったのです。従えなかったらどうなりますか。「罪びと」になるわけです。そして罪意識を持って、例えば洗礼者ヨハネの所にいって、悔い改めた群衆はあまりにも沢山で数え切れないほど。その群衆の心には、このようなとんでもない法律に「いらぬ罪意識」を持って生きてきた人が殆どだったことでしょう。

「ファリサイ派」はどういう意味だと私が申しあげましたか？ 彼らは「ファリサイ派」という律法学者達の中に属しています。「自分達はエリートだ」という意識が強かった人々の群れです。自分たちを名付ける時にも「ファリサイ派」と名付け、これは「分離された者達の群れ」という意味で使って

います。同じ律法主義の中にいるけれども、「私達は特別な者で、もっと清められている者、律法を正しく理解して守っている者だ。」とと思っている者達です。

そのような生き方をする者が、イエス様に綺麗に見えるはずがありません。そして逆にそのファリサイ派の人々の目には、イエス様は綺麗に見えるはずもありません。結局、イエス様が殺された一番大きな名目上での理由は、律法を守ろうとしなかったから。律法を拒んでいる人だったからです。だから律法学者、ファリサイ派の人々は「この人は殺さなくてはならない。」殺さなくては基準の全ての実像が崩れてしまう。結果的にそういう結論まで至ったわけです。

皆様、今日の福音（マルコ 7:14-23）でもイエス様は、そのような考え方に沿って生きている人々を叱っている感じです。

さあ、今もまだ、イスラエルでは豚の肉を食べませんね。創世記には、全てのものを人間が治めて糧とするようにと言うカトリック的な話があります。今日もイエス様は「人の体の中に入るものは何も汚いものはない。逆に中から出て来るものが人を汚す」とおっしゃったのです。仏教はどうですか。仏教は穀物や野菜以外には生き物は食べてはいけないと言われているのではないですか。あらゆるものは神様が創造なさったから尊さがあるわけです。私は豚肉も牛肉も好きで食べます。けどたまには人間ほど残酷なものはないのではないかと思う時があります。

とにかくイスラエルの律法は神様の名を使いながら法律定めた人々を正当化するために作られたものが殆どであると言えます。そういうことでイエス様は、やはり律法は人間のためにある。人間の幸せが、また神様の幸せになることを具体的にしたわけです。ですから律法を定める役割を持っている人々を厳しく叱ったのです。

皆様、私達も色々な法律を持っています。しかし、何よりもあらゆる法律の上には人間の尊さがあることを、人権があることをいつも意識しなければなりません。この教会の中にも色々な法律がありますよね。それを皆が守っているのにある人が守らなかったらやはり醜いです。醜くなります。しかし、守れない人がいたとしても、その人を責める前に、先ずこの教会の法律は何故作られたのか、根本的な理由を考えてみる心の余裕が必要ではないかと思ってみました。

ありがとうございました。